

実践例 2

1. 研究テーマ 「Picture Telling を使って自己表現力を育成する」

2. テーマ設定の意図

今まで自分が行ってきた英語の授業は、教師指示のもと生徒が表現活動をする事が多く、自発的な活動があまりないことが多かった。そこで既習の内容を復習する活動にもなり、習った表現を活用する活動として Picture Telling を実践することにした。これならば、教師が指示をあまり出さなくても絵から読みとれる情報や場面を自分なりの英語で表現できると思い実践した。

3. 調査研究の内容

PISA 型の読解力にもいわれるとおり、情報の「受信」、内容の「分析」、読みとれた情報を「発信」する力を生徒に付けさせる。そのための活動として、Picture Telling は上記の3つの要素を含み、将来的に生徒の自発的な表現活動の育成につながると考えた。

- ・ 絵や写真から学習した内容の記憶をもとにどれくらい生徒が頭の中で場面や状況をイメージできるか。生徒が情報を分析する力を付ける活動の研究。
- ・ 絵や写真について今まで学習した表現を使ってどれくらい表現できるか。やさしい表現からはじまり、少しチャレンジする表現まで生徒が読みとれる内容を自分の言葉で伝える力を付ける活動の研究。

4. 指導案

第2学年〇組 英語科学習指導案

(1) 教材 開隆堂 Sunshine English Course 2

(2) 単元名 Program 8 Our School Life

(3) 生徒の実態
～ 省略 ～

(4) 指導観

この課では『人や物』を比較する際に、形容詞を変化させることを学習し、身近なことなどを比較級・最上級を使って表現する力を広げたい。Section 1 で tall → taller と比較級を学んでいるので、導入の段階で、「一番～」という表現は tall が the tallest になることをスクリーンで実践し生徒の理解を深めたい。また、形容詞に er や est がつくだけで、発音しづらそうなものもあったので、今まで学習した形容詞でよく使われるものを AET とも協力しゆっくり聞かせ、何度も練習していきたい。また、「主語+何か」が入れば安心する傾向があって、He tall ... と tall が動詞だと思っている生徒もいるので、くりかえし、形容詞が『人や物』の状態や性質を表すことばで、be 動詞が必要である文構造を指導し、定着を図りたい。また、会話活動では、“Who is the tallest in your family?” “My father is.” で終わらずに、“How tall is he?” “He is about 180.” という表現にもつなげていきたい。

(5) 本時の学習と中心となる活動

ア 本時の目標

- ・ 最上級の表現(the - est)を理解している。
- ・ 「〇〇は・・・の中で一番～である。」と英語で言うことができる。
- ・ クラスメイトと最上級の表現を使ってお互いの家族について会話ができる。

イ 中心となる活動

- ・ Picture Telling → Speaking (話す) → 表現
- ・ Oral Introduction → Listening (聞く) → 理解
- ・ Pattern Practice → Speaking (話す) → 表現
- ・ Students' Activity → Speaking & Listening (話す・聞く) → 表現と理解

(6) 使用教材

- ・ PC
- ・ プロジェクター
- ・ ピクチャーチャート
- ・ ワークシート

(7) 本時の評価の観点・評価規準など

評価の観点	領域	内容のまとめりと本時の評価規準	評価の方法
1. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	S S	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドリル練習の際進んで英文を作ろうとしている。 ・ 対話活動に積極的に取り組む。 	評価カード
2. 表現の能力	S	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分からない語句があってもヒントを見ながら、英文が作れる。 	活動の観察
3. 理解の能力	L	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入時の教師の会話や対話活動で相手の英語を理解している。 	活動の観察
4. 言語や文化についての知識・理解	W	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最上級の作り方を理解している。 	家庭学習 ノートで 確認 (資料4)

(8) 指導計画と評価規準 (7時間扱い)

時	学習活動・学習内容	評価規準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較級の導入 ・ ドリル練習 ・ 対話活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドリル練習の際進んで英文を作ろうとしている。 ・ 対話活動に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分からない語句があってもヒントを見ながら、英文が作れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入時の教師の会話や対話活動で相手の英語を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較級の作り方を理解している。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級の復習 ・新出単語の意味の確認と発音練習 ・教科書の内容理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業をもとにすすんで英文を作ろうとしている。 ・教科書の英文をスラスラ読めるようになるように一生懸命練習している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を読み、Q&Aを通して内容が正しく理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級について正しい知識が身についている。 ・新出単語を正しく理解している。
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・最上級の導入 ・ドリル練習 ・対話活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリル練習の際進んで英文を作ろうとしている。 ・対話活動に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない語句があってもヒントを見ながら英文が作れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入時の教師の会話や対話活動で相手の英語を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最上級の作り方を理解している。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・最上級の復習 ・新出単語の意味の確認と発音練習 ・教科書の内容理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業をもとに絵や写真について積極的に英語で表現しようとしている。 ・教科書の英文をスラスラ読めるようになるように一生懸命練習している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を読み、Q&Aを通して内容が正しく理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最上級について正しい知識が身についている。 ・新出単語を正しく理解している。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・同格as ~ asの導入 ・ドリル練習 ・対話活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリル練習の際進んで英文を作ろうとしている。 ・対話活動に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない語句があってもヒントを見ながら、英文が作れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入時の教師の会話や対話活動で相手の英語を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同格の作り方を理解している。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・同格as ~ asの復習 ・新出単語の意味の確認と発音練習 ・教科書の内容理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業をもとに絵や写真について進んで英文を作ろうとしている。 ・教科書の英文をスラスラ読めるようになるように一生懸命練習している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を読み、Q&Aを通して内容が正しく理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同格as~asについて正しい知識が身についている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級、最上級、同格as~asすべての文法項目を含む復習。 ・Listening Quiz 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容のプリントを見直したり教師に聞きながら書ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CDを聞いて正しく情報を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級、最上級、同格as ~ asの用法を正しく理解している。

ま と め 8	5 Presentation 1) JTE と AET との発表 2) 生徒同士の発表 6 あいさつ	なるべく原稿を見ないで発表する。
------------------	---	------------------

5. 分析と考察

本来、「読解力」というと **Reading** をイメージすることが多いと思う。しかし、文部科学省の資料からも「読解力」が単に英語でいう **Reading** だけの領域にとどまるのではなく、「連続型テキスト」と呼ばれている文章で表されたもの（物語、解説、記録など）と「非連続型テキスト」と呼ばれるデータを視覚的に表現したもの（資料や絵など）から情報を読みとる力も含まれるとあり、広い範囲での「読解力」と捉えた。今回は **Picture Telling** という活動を通して生徒に絵や写真から読みとれる「読解力」の育成を目指し実践した。今後この活動を継続していけば、次のステップとして単なる「テキストの中の情報取り出し」だけではなく、長文等書かれた情報から推論して意味を理解する「テキストの解釈」や内容の感想等いわゆる **Reading** での「読解力育成」につながるのではないかと考える。

6. 成果と課題

今回は復習として生徒が既に教科書で学習した内容を **Picture Telling** での活動をしたため、結構生徒は自信を持って答えることができたようだった。これは毎回の授業で **Power Point** を使って写真や絵について表現させる練習を続けてきた成果であると考え。ただし、英語が苦手な生徒には読みとれる情報を英語で表現するのは難しいようであった。また、**Picture Telling** で生徒が発表し座っていく中、いつも同じ生徒が残ってしまうという点も課題となった。今後も **Power Point** で **Pattern Practice** を続け基礎表現の定着を図り、生徒の自発的な表現を育むために **Picture Telling** の活動をさせたいと考えている。その中で **Slow Learner** でも答えられそうな絵や写真を用意するなど工夫し、できる生徒には最近話題になっているニュースなどを **Picture Telling** させるなど発展させたいと考えている。

(資料1) **Picture Telling** で使用した絵

開隆堂 Sunshine 2 ピクチャーチャート 1 1 6 番、1 1 8 番、1 2 2 番、1 2 3 番
1 2 5 番、1 2 8 番

これらの絵を見て、予想される生徒の英語

Yuki has a book.	1 1 6 番の絵
The book is about Kawai Junichi.	1 1 6
He is a junior high school in Shizuoka.	1 1 8
He is good at swimming.	1 2 2
He lost his sight at fifteen.	1 1 8
He couldn't swim straight at first.	1 2 2
He swam 8,000 meters every day at that time.	1 2 3
His friends always helped and encouraged him.	1 2 3
He became a gold medalist.	1 2 5
His students gave him a gold medal too.	1 2 8

資料2) Pattern Practice の Power Point で用いた絵や写真

1. エベレストの写真
2. ナイル川の写真とアフリカの地図とナイル川の位置を示したもの
3. 香川県の地図と日本地図の対比を示した絵
4. アメリカ、中国語、ロシアの地図を提示し、一番大きな国は？という質問
5. クジラ、像、白クマ、キリン等ほ乳類の絵で一番大きな動物を示したもの
6. 東京の1年間の平均気温を示した図と雪の降る写真

資料3) 活動プリント

Program 8-2 the ~ est 「一番～である。」 最上級

- ◆ クラスメートの家族について、①一番背が高い人はだれか the tallest
②一番年下はだれか the youngest を聞いてみよう。結果を統計をとってみよう。
* 補充の質問にもチャレンジしてみよう。[背の高さや年齢について]

①

A: Hi. (Hi.) Who is the tallest in your family ?

B: (My father) is. / I am.

A: I see. / Oh, really.

* → A: How tall *is (he) ?

B: (He) is about 180.

*I am. の答えの時は注意

家族で一番背が高いのは

・お父さん (1 人 2 3 4 5 6 7)

・お母さん (1 2 3 4 5)

・お兄さんやお姉さん (1 2 3 4 5)

・自分 (1 2 3 4 5)

・おじいちゃん (1 2 3 4 5)

②

A: Who is the youngest in your family ?

B: (My sister) is. / I am.

A: I see. / Oh, really.

* → A: How old *is (she) ?

B: (She) is (4) years old.

*I am. の答えの時は注意!

家族で一番年下なのは

・自分 (1 人 2 3 4 5 6 7)

・弟 (1 2 3 4 5)

・妹 (1 2 3 4 5)

Today's Homework ! 8-2

Program 8-2 「今日の表現」 最上級 the + 形容詞 est 「一番～」

☆ 課題1 下の*折り返し線で英文を隠し、1～6の英語をスラスラいえるように練習しよう。

1. ナイル川は世界で一番長い。
2. ロシアは世界で一番大きな国です。
3. 1月は一年のうちで一番寒い月です。
4. 香川は日本で一番小さい県です。
5. 慎吾は5人の中で一番背が高い。
6. 世界で最も古いお寺は何ですか。 → 法隆寺です。(木造建築では一番古い)

☆ 課題2 上の日本語が英語で書けるようになるまで練習しなさい。
少なくとも5回は練習すること。

----- * 折 り 返 し 線 -----

1. *The Nile is the longest in the world. * 「～川」という時、The を使う
2. Russia is the largest country in the world.
3. Kagawa is the smallest prefecture in Japan.
4. January is the coldest month in a year.
5. Shingo is the tallest *of the five. *具体的に「～人」という時は of を使う
6. What is the oldest temple in the world? → *Horyuji* is.

☆ 課題3 次の単語を10回ずつ発音しながらいねいにノートに書きなさい。

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 1. type 「型」 タイ(プ) | 7. month 「月」 マン(ス) |
| 2. light 「軽い」 ライ(トゥ) | 8. prefecture 「～県」 プリフェクチャー |
| 3. heavy 「思い」 ヘヴィー | 9. the Nile 「ナイル川」 ザ ナあい(ル) |
| 4. shape 「形」 シェイ(プ) | 10. temple 「寺」 テンポー |
| 5. face 「顔」 フェイ(ス) | 11. different 「違った、異なった」 ディファレン(トゥ) |
| 6. show 「見せる」 ショおウ | 12. Which ~? 「どちらが～」 ウイツチ |